

公益社団法人 環境生活文化機構  
設立30周年記念講演会

# 人工知能時代にサステナブル社会を 実現するための人間力

講師

脳科学者

茂木健一郎氏

ソニーコンピュータサイエンス研究所上級研究員。  
東京大学大学院特任教授（共創研究室、Collective Intelligence Research Laboratory）。東京大学大学院客員教授（広域科学専攻）。屋久島おおぞら高校校長。  
1962年10月20日、東京生まれ。東京大学理学部、法学部卒業後、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻課程修了、理学博士。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て、現職。

脳活動からの意識の起源の究明に取り組む。2005年、『脳と仮想』（新潮社）で第4回小林秀雄賞を受賞。2009年、『今、ここからすべての場所へ』（筑摩書房）で第12回桑原武夫学芸賞を受賞。近著に『クオリアと人工意識』（講談社）。IKIGAIに関する英語の著作が、世界35カ国、29以上の言語で翻訳出版される。2022年4月には、二冊目の英語の著作The Way of Nagomi（「和みの道」）が出版された。IKIGAIのドイツ語版は、2024年、ドイツのノンフィクション部門のベストセラー1位を累計30週以上続ける社会現象となる。2025年7月、三冊目の英語の著作、Stoicismをテーマにした本がイギリスの出版社から刊行予定。



大規模言語モデルなどの生成AIを中心に、人工知能の発展がめざましい。人間の能力を超えるシンギュラリティが現実化する今、サステナブルな社会を実現するために、人間の脳の想像力やコミュニケーション力を活かす方法について最新の知見を踏まえてお話しします。また、近年国際的に注目されている「生きがい」を中心に、人間のウェルビーイングを実現するための科学的アプローチにおいて、日本が果たすべき役割についても考えます。

日時

2025年 6月 25日 水 15:00-16:45

会場

航空会館 701会議室

【参加申込締切】

2025年6月20日（金）

定員

120名 参加費無料

主催：公益社団法人環境生活文化機構